

有水中学校だより



令和7年2月12日

☆ 志を高く 未来に向かって ~ 立志の会

2月7日(金)に参観日がありました。2年生は、参観日の授業を「立志の会」として、生徒のこれから決意表明を行いました。

「立志式、立志の会」は、武士の社会で行われていた「元服」に由来し、14歳になったことを祝う式です。中学2年生、14歳という時期は、3年生への進級を控え、これからどのように生きるかを考える大切な時期、節目となりますので、多くの中学校では、立志式、立志の会を行います。



式の校長の話では、「こころざしとは」ということについて話がありました。200年も前に、伊能忠敬が実際に測って作った日本地図にまつわる話の中で、夢や志を行動に移すことはいつでもできる。夢の実現から誰かのためにと志を高くしていくと、みんなを支えてくれる人や新たなチャンスをくれる人に出会えるという話でした。

また個人の発表「立志の誓い」では、それぞれがこれからの自分の人生の歩き方を具体的に発表していました。興味のあることや今、心の中で思っていることを具体的に言葉や画像にして発表しました。まずは、自分自身に言い聞かせ、周りの人たちに伝えることにより、いろいろなことが動き出すきっかけになると思います。これから少しづつ行動や形になってきてほしいと思います。

最後は、保護者から生徒への手紙、先生方からのメッセージ等でした。親としてこれまでの想いを伝えていただき、聞いている私たちも心が熱くなりました。また、先生方からのメッセージでは小学校の先生方の映像が流れると“わ～”という声が聞こえ、和やかな雰囲気になりました。

いよいよ中学校生活も残り1年となります。素晴らしい未来に向かって、一歩ずつ進んでいくてほしいと思います。

☆ 地域活性化に向けての想いを ~ 都城市小・中学生プレゼンコンテスト

2月8日(土)に高崎福祉保健センターにおいて、都城市小・中学生プレゼンコンテストが開催されました。

都城市的各小・中学校から応募されたプレゼン資料をもとに一次審査があり、その中から小・中学校、各5校ずつが、本選に出場するコンテストでした。

有水中学校は、令和4年から開催されているコンテストに初めて選出されました。生徒たちは、予選通過の知らせを受け、歓喜しながらも、本選での発表をさらに良くしようと、昼休みや放課後と熱心に準備をしてきました。

体調を崩す生徒もいて、5名でのコンテスト出場は大丈夫だろうかと心配していましたが本番では、しっかりと有水中らしい発表ができたと思います。



地域を活性化させたい。そのために、地域とのつながりを深くしていく取組みを自分たちから作っていこう。中学生自身で今やれることは何か。…この活動を中心に発表をしてくれました。

会場で発表までに学んだこと、感想等について質問がありましたが、活動を手伝ってくれた友達や支えてくれた方への感謝を口にしていました。素晴らしい経験ができたと思います。